

(公財) 原子力環境整備促進・資金管理センター
第27回 最終処分積立金運用委員会 議事録

1. 日 時 平成25年 5月24日 (金) 9:30~11:30

2. 場 所 東京都千代田区霞が関3-2-1
霞山会館 「紅梅の間」

3. 委員の現在数 5名

4. 出席した委員の数及び氏名

委員長 浅野 幸弘
委 員 神谷 高保
委 員 井潟 正彦
委 員 伊藤 敬介
委 員 山崎 元

以上 5名 出席

5. 議 題

- I. 最終処分積立金運用実績 (平成24運用年度実績及び平成25年4月末実績) (報告)
- II. 事業債が保有格付未満になった場合の今後の対応 (審議)

6. 開 会

事務局から、本日の第27回最終処分積立金運用委員会は、同運営規則第4条の規定による定足数を満たしているので、有効に成立している旨の報告があった。

続いて、並木理事長が開会の挨拶を述べ、議事に入った。

7. 議事の概要

事務局から、上記5. の議題について、下記の説明を行った。

I. 最終処分積立金運用実績 (平成24運用年度実績及び平成25年4月末実績)

第一種最終処分積立金の平成24年度運用額は、平成23年度積立金受入額などから原環機構への取戻額を差し引いた額に、当期の償還額と利息収入を加え、1,272億円となった。

運用内訳は、国債759億円(60%)、政府保証債131億円(10%)、地方債132億円(10%)、事業債247億円(20%)と、ほぼ計画通りの運用を達成できた。

平成24年度購入債券の平均利回りは0.92%で、評価基準である‘当年度の運用計画をベースに加重平均した国債応募者利回り’0.90%を上回った。

平成25年度運用額は、平成24年度積立金受入額から原環機構への取戻額を差し引いた額に、当期の償還額と利息収入を加えた1,056億円を見込む。平成25年4月末実績では、ほぼ計画通り運用を実施している。

また、保有している債券の中で、従来から指定格付機関による格付がAA-未満となっている地方債及び事業債並びに無格付地方債のうち財務健全化基準に基づき要注意区分（総合判断）としている地方債については、Tスプレッドの状況や発行体の経営状態などを勘案し、現時点において、売却を要する状況にはない。

第二種最終処分積立金の平成24年度運用額は、平成23年度積立金受入額などから原環機構への取戻額を差し引き、当期の利息収入を加え41億円となった。

運用内訳は、5年国債41億円（100%）と、計画通りの運用を達成できた。

平成25年度運用額は、平成24年度積立金受入額から原環機構への取戻額を差し引いた額に、当期の利息収入を加えた34億円を見込む。平成25年4月末実績では、ほぼ計画通り運用を実施している。

※運用年度対象期間は平成24年3月から平成25年2月まで。

上記Ⅰ.の報告について意見交換を行った。

Ⅱ. 事業債が保有格付未満になった場合の今後の対応

前回の委員会で寄せられた意見を踏まえ、「事業債が保有格付未満になった場合の今後の対応」について改めて検討した結果、事業債が保有格付未満になった場合には、債券償還までの期間が極めて短期間である等の相当の理由がない限り、原則として売却を行うこととする。

上記Ⅱ.の議題について、審議した結果、了承した。

8. 次回スケジュール

平成26年1月下旬から2月上旬を目途に開催したい。

9. 閉 会

<委員会で寄せられた意見>

Ⅰ. 最終処分積立金運用実績（平成24年度実績及び平成25年4月末実績）

○運用計画通りに運用されており問題はない。

Ⅱ. 事業債が保有格付未満になった場合の今後の対応

○上記事務局案通りの運営で問題はない。

以 上

事務局：資金管理業務部 TEL：03-3534-4581